

たかおか

市議会 だより



家持くん 利長くん

写真提供：伏木写友会

高岡へようこそ コスタ・ビクトリア号入港

No.27 6月定例会号
平成24年(2012年)8月1日発行

6月定例会のあらまし	2P
個別質問	4P
委員会の動き	8P

編集■議会広報編集委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



暑中お見舞い申し上げます。

高岡市議会議員一同

高岡市議会基本条例(案)、議員政治倫理条例(案)に関するパブリックコメントに多くのご意見をいただきありがとうございました。今後、議会改革検討委員会で検討を行い、ご意見に対する考え方を市議会ホームページにて公表してまいります。

6月定例会において補正予算・

条例など13議案を可決

個別質問に10人が登壇

6月定例会は8日に開会し、19日に閉会しました。
 市長から平成24年度一般会計補正予算をはじめ高岡駅北口
 歩行者専用道建設工事の工事請負契約の締結など13議案が、
 議員から意見書1議案が提出され、うち13議案を可決しまし
 ました。
 今定例会では、個別質問に10人の議員が登壇し、白熱した
 議論を展開しました。

可決した主な議案

補正予算

一般会計
 補正額 4億9935万円

《主な事業》
 ①幼稚園・保育園施設整備事
 業費補助
 補正額 2億7164万円

②地域防災計画推進事業
 補正額 919万円

③都市公園等整備事業
 補正額 702万円

④産業支援情報ネットワーク
 構築事業
 補正額 100万円

国民健康保険事業会計
 補正額 1億4800万円

手数料条例等の一部改正
 外国人登録法の廃止及び住
 民基本台帳法の一部を改正す
 る法律の施行に伴い、条文を
 整理するもの。

国民健康保険税条例の一部
 改正
 国民健康保険財政の安定運
 営を図るため、保険税率及び
 賦課限度額等の見直しを行う
 もの。

その他
 ①工事請負契約の締結
 戸出地区コミュニティ施設
 (仮称)新築工事
 戸出福祉会館の老朽化に伴
 い、行政サービスや公民館機
 能等を有する地域コミュニテ
 イ施設を新たに建設するもの。
 ②高岡駅北口歩行者専用道建
 設工事
 JR高岡駅の北口駅前広場
 における歩行者と自動車の動
 線を分離し、歩行者の安全性
 を高めるため、歩行者専用道
 を建設するもの。
 契約金額 20億1600万円



日ごろの訓練の成果を披露 消防操法大会

議決結果一覧

6月定例会 初日提出議案

平成24年度 補正予算

- ◇一般会計……………全会一致で可決
- ◇国民健康保険事業会計……………賛成多数で可決

条例

- ◇手数料条例等の一部改正……………全会一致で可決
- ◇国民健康保険税条例の一部改正……………賛成多数で可決

その他

- ◇工事請負契約の締結(戸出地区コミュニティ施設(仮称)新築工事)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(高岡駅北口歩行者専用道建設工事)……………賛成多数で可決
- ◇工事請負契約の締結(福岡小学校体育館改築工事)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(西条公民館新築工事)……………全会一致で可決
- ◇工事委託契約の締結(JR北陸本線こ線橋整備委託工事)……………全会一致で可決
- ◇財産の取得(土地)……………全会一致で可決
- ◇財産の取得(災害対応支援車)……………全会一致で可決
- ◇市道路線の認定及び廃止……………全会一致で可決
- ◇富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更……………全会一致で可決



開かれた議会を目指して市民説明会を開催

議会日誌

3月定例会後～6月定例会前

- 3月 26日 議会広報編集委員会
- 4月 2日 議会運営委員会
- 6日 議会広報編集委員会
- 9日 議員協議会
臨時会本会議
総務文教常任委員会
- 12日 民生病院常任委員会
- 19日 港湾対策特別委員会
- 20日 代表者会議
- 24日 総務文教常任委員会
建設水道常任委員会
- 26日 経済消防常任委員会
- 27日 新幹線・公共交通対策特別委員会
- 5月 11日 歴史文化・広域観光対策特別委員会
代表者会議
議会改革検討委員会
- 14日 経済消防常任委員会
- 18日 建設水道常任委員会
代表者会議
- 21日 議会運営委員会
民生病院常任委員会
総務文教常任委員会
- 28日 民生病院常任委員会
- 29日 議員説明会
議員協議会
臨時会本会議
民生病院常任委員会
代表者会議
- 6月 1日 議会運営委員会
- 4日 正副常任委員長会議
議会基本条例(案)・議員政治倫理条例(案)
市民説明会

6月定例会

- 6月 8日 議員協議会
本会議 (提案理由説明)
議案説明会
- 12日 議会運営委員会
本会議 (個別質問)
- 13日 本会議 (個別質問)
- 14日 民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 15日 議会運営委員会
総務文教常任委員会
建設水道常任委員会
- 19日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議 (議案など議決)

* 繰上充用：会計年度経過後、その当該会計年度の歳入が歳出に対して不足する場合に、翌年度の歳入を繰り上げて当該年度に充てることができる。この場合は、必要な額を翌年度の歳入歳出予算に編入しなければならない。

③福岡小学校体育館改築工事
契約金額 5億2416万円

④西条公民館新築工事
契約金額 1億5120万円

■工事委託契約の締結

JR北陸本線こ線橋整備委託工事

都市計画道路中川和田線整備に係るJR北陸本線との立体交差のため、こ線橋を整備するもの。

契約金額 7億3057万円

①土地

戸出地区コミュニティ施設(仮称)新設用地として、土地を取得するもの。

所在 戸出町二丁目
5291番1ほか

面積 6781㎡
取得価格 1億9545万円

②災害対応支援車

水難事故、救助事故、災害等に対応するため、高岡消防署の資材搬送車を災害対応支援車として更新整備するもの。

取得価格 4389万円

4月臨時会

その他

■訴えの提起

平成24年3月27日に富山地方裁判所高岡支部から出された判決を不服として控訴するもの。

報告

■専決処分の報告

地方税法等の一部改正に伴い、市税賦課徴収条例の一部を改正するもの。

5月臨時会

■補正予算

■国民健康保険事業会計

補正額 2億1600万円

平成23年度の歳入歳出決算見込みにおいて、歳入不足が生じることから、24年度の歳入をもって繰上充用の措置を講ずるもの。

■最終日追加提出議案

■議員提出議案(意見書)

◇消費税増税に反対する意見書……………賛成少数で否決

■4月臨時会

その他

◇訴えの提起について……………全会一致で可決

報告

◇専決処分(市税賦課徴収条例の一部改正)……………賛成多数で承認

■5月臨時会

■平成24年度補正予算

◇国民健康保険事業会計……………全会一致で可決

個別質問

今定例会では、10人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



川島 国
自民党議員会

生活保護被保護者の支援

問 生活保護被保護者の自立のため、ハローワークと連携し、就労支援や生活支援にこれまで以上に取り組むべきでは。

福祉保健部長 本市では、被保護者の自立支援のため、ハローワークと連携しながら、平成23年度から生活保護受給者就労支援事業を実施している。23年度では、8名が自立しており、24年度も積極的に取り組むたい。また、23年10月からハローワークが実施している求職者支援制度では、4名が職業訓練を受講している。現在、国は生活保護制度の見直しの議論を進めており、その動向を注視しながら、今後とも、被保護者の就労支援や生活支援に努めたい。

環日本海近郊都市との連携

問 観光交流に力点を置く本

市として、韓国・ロシアなどの環日本海近郊都市との友好提携をさらに進めるべきでは。

経営企画部長 環日本海近郊都市との交流は重要であると認識している。現在、ロシアとの都市間交流として、日口沿岸市長会議に参加し、観光や産業などについて情報交換を行っている。また、伏木富山港におけるポートセールスなど外国人観光客の誘致にも努めている。本市としては、自治体間の交流のみならず、民間の経済交流や観光交流など幅広い交流を促進し、環日本海近郊都市との友好を深めていきたい。

災害廃棄物の受け入れ体制

問 東日本大震災の災害廃棄物の受け入れに係る県と市の役割分担は。

生活環境部長 県は、国への支援要請や被災地と本市との調整、県内における本市焼却施設までの運搬や県内搬入時の放射線量等の測定を、市は、焼却施設での受入時、焼却後、埋立処分時等に放射線量等の測定を行うこととしてい



災害廃棄物の受け入れの体制づくりを 岩手県山田町を視察

る。詳細な役割については、現在、県と協議を進めている。



梅田 信一
自民党議員会

駅前地下街のにぎわい創出

問 高岡駅前地下街のにぎわいを創出するためには、店舗数の維持・増設はもとより、新たなコンセプトの設定によるテナント構成の見直しや民

間企業等への施設管理業務委託など、従来の考え方から脱却し地下街を運営する必要があると考えるが、見解は。

産業振興部長 地下街のにぎわい創出のため、周辺の居住者にとっても便利で来訪者にも気軽に利用できる、人々の集い合える空間としての機能を有する施設の実現に向けて、事業運営のあり方や工夫について、今後検討を重ねたい。

並行在来線の利便性確保

問 新幹線新駅が分離駅となる本市において、新幹線開業後の並行在来線の利便性確保は、今後の高岡駅周辺の中心市街地のまちづくりなどのような影響を与えるのか。また、その重要性についての見解は。

市長 新幹線開業後の中心市街地の活性化を推進することは極めて重要であり、まずは、新幹線新駅利用者が高岡駅や中心市街地へと円滑に移動できるような対策を講じることが必要である。また、並行在来線は、高岡駅を中心に東西方向の主要動線であり、その利便性を確保することは、日常交通の結節点たる高岡駅の拠点性を高め、その北側に広がる中心市街地の活性化のためにも重要である。新幹線開業後も、並行在来線の利便性

確保を通じて中心市街地の活性化が図られるよう、平成24年7月に設立される並行在来線会社や県等に働き掛けたい。

公正な競争の促進

問 公正な競争を促進する観点から、入札参加企業の子会社及び関連会社は資格審査の段階で把握しているのか。

総務部長 入札参加資格要件については、入札参加者同士が資本及び人的に関連を持たないことを求めており、実際の審査においても適正な運用を行っている。



中山 欣一
民主クラブ

人口減少問題への対応を

問 持続可能なまちづくりのため、今後、人口問題を視点とした政策や事業の推進が不可欠と考えるが、見解は。

市長 総合計画においても人口減少社会を前提として持続可能な都市経営を目指している。このため、選択と集中により、密度の濃い都市構造の構築が不可欠であることから、高岡新世紀創造プロジェクトでは、五つの柱を掲げてまちの魅力の向上に努めている。

引き続き、市民等と連携し、住みたい、住み続けたいまちづくりを進めることで、総合的な都市力を高め、定住人口の流入促進や交流人口の拡大を図っていきたい。

通学路の安全対策

岡 安全な歩道をアピールすべく、モデル地区を研究、実施すべきと思うが、見解は。

建設部長 緊急的な事故対策が必要な地区をあんしん歩行エリアとして、警察庁と国土交通省が合同で指定している。本市では内免地区などが指定を受け、交通管理者では規制標識等の設置などを実施している。また、道路管理者としては、通学路を含めた地区内の交通安全施設の整備などを行い、交通管理者と協力し、歩行者の安全確保を図っている。今後とも、交通管理者や学校関係者と連携し、交通事故の防止を図るとともに、他の市の先進事例も参考に安全な歩道の確保に努めていきたい。

並行在来線の駅舎整備

岡 並行在来線の利便性向上策として、西高岡駅や福岡駅の南北自由通路の開設や駅内外のバリアフリー化等の駅舎の改良・整備計画を立てるべきと思うが、見解は。

生活環境部長

北陸本線は新幹線開業時にJRから並行在来線会社に移管されることから、駅施設の改善策については、今後の利用実態等を踏まえ、公共交通利用者の利便性向上の観点から、並行在来線会社とも協議していきたい。



金平 直巳
日本共産党

引き上げの見送り

岡 国民健康保険事業の安定的な運営のため、平成24年度から3年間で2億1000万円を一般会計から特例で繰り入れるが、さらに全国平均一人当たり1万円の繰入額に近づける努力をすることで、国民健康保険税の引き上げを見送るべきでは。

市長 国民健康保険制度は、国民健康保険税と国・県の補助金等で賄うことを原則としており、一般会計からの繰入額が自治体ごとで大きく異なることは問題であると考えている。また、国民健康保険制度の持続的・安定的な運営のための抜本的な改革の早期実現が必要であると考えている。今回、一般会計からの特例繰り入れも含めた総合的な対策

を講じる一環として、国民健康保険税の引き上げを提案しており、市民の理解を得るよう努めていきたい。

再稼働の考え方は

岡 福島原子力発電所の事故の原因究明を尽くさず、また、安全基準などを見直さずに、原子力発電所は再稼働すべきでないと考えているが、志賀原子力発電所を含む原子力発電所の再稼働に対する考え方は。

市長 電力事業者が確実な安全・安心対策を講じること、国が適切に安全性の確認を行うことが重要である。そして立地県のみならず隣接県や市町村、また、その住民の意向が丁寧に汲み取られ、理解を得ることができるよう、国及び電力事業者に対して、責任ある説明を求めていきたい。

新しい墓地のあり方

岡 市民のニーズが高まっている納骨堂の新設を。

生活環境部長 今後、少子化や核家族化などで墓を継承・管理する人がいなくなるなど懸念され、また、墓地のあり方や考え方にも変化の兆しが見られることから、納骨堂の設置については、宗教法人における取り組み等踏まえながら検討していきたい。



曾田 康司
自民クラブ

旧町名復活の支援体制

岡 旧町名復活に関しては、高岡市としても支援すべきと考えるが、本市の関わり方と支援体制は。

生活環境部長 これまで、高岡の旧町名復活を推進する会に対し、住居表示制度の説明等や住居表示により旧町名復活を行う場合の課題等について協議してきた。今後、地域の実情に応じた旧町名復活の手法や活動の進め方が議論されるものと考えており、地域での具体的な動きに合わせ、必要な支援を検討したい。

ハイブリッド電車の可能性

岡 今後の高岡の公共交通について問う。

(1) 今後、高岡の公共交通の整備を進めるに当たり、ハイブリッド電車は大きな意義と可能性を持つと思うが、見解は。
(2) ハイブリッド電車の試験走行を本市で実施しては。

市長 (1) ハイブリッド電車は、架線から車両に搭載したバッテリーに充電することにより、架線のない区間でも走行でき



電化方式が異なる路線へも乗り入れ可能 ハイブリッド電車

る。また、交流電化・直流電化といった電化方式の異なる線区を直通運行することも可能である。このため、本市のように直流と交流及び非電化という動力方式の混在する地域では、ハイブリッド電車が有効に機能すると考えており、未来トランスポートビジョンの具体化に向けて積極的に研究・活用したい。

生活環境部長 (2) 試験走行は、平成19年度に札幌市交通局市内線において、軌道営業線における省エネ効果等の実験が行われた。また、21年度には、JR予讃線・高徳線において、鉄道営業線における速度と充電走行距離等の試験が行われた。本市での試験走行につい

ては、今後の本市の交通ネットワークの整備・充実を図る観点から、ハイブリッド電車の有効性を引き出すためにどのような環境を整える必要があるかを含め、鉄道総研の協力を得ながら検討していきたい。



酒井 立志
自民党議員会

港湾サービスの強化を

伏木港への大型観光クルーズ船の誘致を図るためには、利用者の視点に立った港湾施設の整備として、諸外国から観光客を迎えるにふさわしい旅客ターミナル機能の確保が求められていると考えるが、見解は。

建設部長 平成23年11月の外航クルーズ拠点の選定を受け、寄港頻度の増加を目指していることから、ターミナル整備や円滑な乗降手続きが確保されるよう関係機関に要請していきたい。

地域防災計画の見直しは

問 東日本大震災を教訓に、県では、地域防災計画の最終案がまとめられた。この計画の見直しに伴う本市の地域防



地域の防災力の強化を 総合防災訓練

災計画の見直し内容とスケジュールは。

市長 震災・津波対策編では、津波災害対策として津波ハザードマップの作成配布や避難路の確保、住民避難対策として備蓄物資の強化などを進めることとしている。また、原子力災害対策編では、国の防災指針の見直しの動向を注視するとともに、今後、防災指針の見直しが行われた場合には、速やかに国の防災基本計画や県の地域防災計画と整合性を図ることとしている。震災・津波対策編は、平成24年7月に震災対策検討部会、8月ごろに防災会議を開催し、市民からの意見も聞き、取りまとめた。

広域的な災害対策

問 高岡市・氷見市・砺波地域消防組合による消防指令事務共同運用を開始するが、広域的な災害対策のために、射水市の参加を求めるべきと考えるが、見解は。

消防長 広域的な災害対策においては、隣接消防本部が市域を越えて連携を強化することは、極めて重要なことであるとされており、消防本部としては、今後とも機会を捉え、射水市との広域連携体制の強化に努めたい。



島村 進
社民党議員団

保険税の引き上げ抑制を

問 国民健康保険事業会計への一般会計からの特例の繰入額を、平成24年度から3年間で2億1000万円としているが、国民健康保険税の引き上げを抑制するために、22年度の県基金の借入金及び24年度繰上充用額の合計4億2600万円とすべきでは。

福祉保健部長 平成23年度国民健康保険事業決算において収支不足が生じたことから、3カ年の経営健全化計画を策

定した。計画では、22年度決算に係る県基金からの借入金償還、24年度繰上充用分の財源確保などや、本事業の持続的で安定的な財政運営の一つとして、一般会計からの2億1000万円の特例の繰り入れを行うものである。

がれき処理の安全性の確保

問 震災がれきは、現地での処理が十分可能であると考えられているが、市が示しているがれきの広域処理について問う。

(1)平成24年3月定例会の市長答弁で、がれき受け入れの前提条件とした、将来にわたる健康や環境に影響を及ぼさない安全性の確保とは。

(2)市民の理解が大前提としている市民の範囲を明らかにし、どう理解を得るのか。また、がれきの焼却による放射性物質の広範囲な飛散の恐れや風評被害等の可能性を考えた場合、市民全体の理解を得るべきと考えるが、見解は。

市長 (1)廃棄物処理の各段階で放射線量を測定し、国や県の数値を超えないことを確認することである。受け入れ後も、最終処分場の放射線量や排水の放射能濃度等について継続的に計測・管理したい。(2)災害廃棄物の受け入れには、近く私も焼却施設等の周辺住

民に直接説明し、理解を得たうえで、安全性の確認の一環として、市の焼却施設で試験焼却を行い、放射線量を測定したいと考えている。その後、測定結果の公表を行い、県と連携しながら、市民の理解を得るよう取り組みたい。



吉田健太郎
公明党

安全な通学路の確保を

問 通学路の安全対策として、子どもの通学中の交通事故を防ぐためゾーン30の導入を。

教育長 ゾーン30は、警察庁が全国での整備を目指している事業であると聞いており、交通安全の有効な対策の一つと考える。しかし、歩行者の通行が最優先され、自動車の通行が抑制されることや、道路標識や路面標示などを設置し、ゾーンを明確にする必要もあることから、市全体の交通安全行政に関わるものである。今後は、実施主体である警察庁及び所管の警察署が、条件の整った地域から、順次推進していくものと考えているが、本市において、より多くの地域でゾーン30が導入されることを期待している。

*ゾーン30：歩行者の通行が最優先され、自動車などの制限速度を時速30km以内とする区域のこと。

ふるさと高岡を学ぶ

問 子どもたちがスタンプリーを楽しみながら高岡の歴史などを学ぶ高岡再発見プログラムについては、今後も保護者の声を聞きながら、継続的に事業展開を図っては。

教育長 本市としては、今回のプログラム実施を踏まえ、保護者や教員、受け入れ側の施設、周辺地域の住民の意見も参考にしながら、平成25年度も実施していきたい。

わがまち訓練

問 総合防災訓練においては、自助・共助での訓練をどのような内容で実施するのか。

市長 本市では、総合計画第2次基本計画において、5年間で全小学校区の地域で総合防災訓練を実施し、自助・共助の取り組みとして、市民自らが考え行動する、わがまち訓練を行うこととしている。わがまち訓練では、自分の住むまちを防災という観点で再認識し、災害に対して地域で共通のイメージを持ってもらうことに留意している。今後、行政や地域などが連携し、様々な災害に対して、自助・共助の意識の向上により地域防災力を高め、安全・安心のまちづくりを推進したい。



金森 一郎
政 峰 会

橋梁長寿命化修繕計画

問 老朽化した橋が増える中、橋梁長寿命化修繕計画の調査結果と修繕計画の内容は。

建設部長 市で管理する10m以上の156橋のうち、簡易な補修で延命化を図れるものが147橋、大規模修繕が必要なもの9橋あるとの調査結果が得られた。また、修繕計画は、塗装やひび割れの対策を何年ごとに行うかの工程を示したものである。実施に当たっては、損傷の程度や交



安全・安心な橋りょうの整備を 国東橋

通量、防災上の路線区分などの重要性を総合的に勘案し、進めていきたい。

高機能消防指令センター

問 高機能消防指令センターが運用されてから2カ月余りたつが、具体的な効果は。

消防長 効果としては、1点目に、総合型位置情報通知システムの導入により、通報から現場到着までの平均所要時間は約30秒短縮された。2点目に、車両の動態を一元管理できるようになり、災害発生地点直近の消防車等を自動的に選別して出動させることが可能となった。3点目に、音声による通報が困難な障害者からの緊急通報に対応するためのメール119受信設備には、16名の登録があり、非常時の通報にも円滑な対応が可能となった。4点目に、市民向け災害情報メール案内装置の導入により、登録希望のあった200名の市民に対し災害の情報提供を行っている。

被保険者証のカード化

問 国民健康保険の被保険者証のカードの種類やセキュリティ対策は。

福祉保健部長 国民健康保険の被保険者証は、これまで世帯ごとに1枚発行していたが、

個人ごとに携帯できるよう、平成24年10月の被保険者証の一斉更新時にカード化を導入することとした。このカードは、住民基本台帳カードと同じサイズとし、セキュリティ対策としては、コピーによる偽造防止加工が施してある。



石須 大雄
社 民 党 議 員 団

準要保護就学援助制度

問 準要保護就学援助制度の対象は、国が定める要保護及び準要保護児童生徒の認定要領に基づき、教育委員会が認定を行うこととしているが、本市の該当基準は。

教育長 本市では、保護者が、市民税・国民健康保険税・国民年金の掛け金などが減免されている者、児童扶養手当を受けている者、長期療養や失業等の特別な事情により生活に困窮している者などとしている。

魅力ある周遊コースの整備

問 伏木地区に点在する様々な観光資源を結び付けた周遊コースの整備について問う。

(1)伏木地区に周遊コースを設定し、PRするためにも、如

意の渡しが運行されていた渡し場付近に設置されている義経像と弁慶像を旧伏木消防署跡地の公園に移設しては。

(2)高岡駅前北口広場に設置されていた大伴家持像を気象資料館敷地付近に設置しては。

産業振興部長 (1)義経像と弁慶像は、平成2年に市内の銅器会社により制作され、本市へ寄贈されたものであり、如意の渡しが運行されていた渡し場付近の現在の場所に設置された。しかし、21年8月に如意の渡しが廃止され、現在の設置場所が必ずしも適しているとはいえなくなってきた。このことから、地元の見解と寄贈者の了解が得られれば、伏木地区で適した場所への移転は可能と考えており、旧伏木消防署跡地の公園も十分選択肢の一つになると思われる。

都市整備部長 (2)現在、高岡駅前北口広場では、現駅周辺整備が行われており、大伴家持像は修繕・保管のため撤去したところである。大伴家持像の移設場所については、整備中の高岡駅前北口広場内を前提としてきたところだが、これまで多くの市民から様々な意見が寄せられており、今後は、どこが移設にふさわしい場所なのかを十分に検討していきたい。

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次のような観点から当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆コミュニティ助成事業での自治会等からの応募状況は。また、地域の歴史や文化を伝承するうえで非常に重要な助成事業と考えるが、本市の見解は。

◆原子力防災対策として40歳以上の市民の分の安定ヨウ素剤の購入が予算計上されているが、購入後の安定ヨウ素剤の有効期間や保存場所は。

◆津波災害対策として海抜表示板の設置が予算計上されて



にぎやかに大型客船をお出迎え クラブ・ハーモニー号寄港

般会計から繰り入れを行うことについて、国は何か制限をもうけているのか。

◆県内で国民健康保険税の税率の高い市町村と低い市町村はどこか。

◆国民健康保険税の改正では、介護分の賦課限度額のアップ率が大きいのが、理由は。

○経済消防常任委員会

◆職業訓練センターの耐震補強計画・実施設計費について社会資本整備総合交付金を特定財源として計上しているが、今後の耐震補強工事において、同交付金を財源として活用できるのか。また、職業訓練センターのI s 値は。

◆雇用創出人材育成支援事業について、平成23年度の実績と県の重点成長分野人材育成プログラム事業との違いは。

◆災害対応支援車の導入は、本市の防災対策の向上に資すると思うが、その必要性和効果は。

○建設水道常任委員会

◆交通安全施設整備事業費では、平成24年4月の暴風によって被害を受けたカーブミラー等の補修を行うとのことだが、他の施設に被害はなかったのか。

◆高岡駅周辺地区整備事業費における人口デッキの整備について、事業費の圧縮は設計段階ではどのように検討されたのか。

◆たかおかストリート整備推進事業費のうち、瑞龍寺道整備事業費の内容と将来的な展望は。

◆公園の遊具の安全確保について、国土交通省は平成20年

8月に都市公園における遊具の安全確保に関する指針を見直したが、その内容は。

編集後記

去る6月4日に、「高岡市議会基本条例(案)」及び「議員政治倫理条例(案)」制定のための市民説明会が開催されました。議員自らが市民説明会を主催し、直接市民の皆さまの意見を伺えたことは、画期的な試みであり、それ自体が市民に開かれた市議会の「はじめの一步」ではなかったかと考えております。

6月定例会でも日ごろからいただいている皆さまの声を含め、防災対策の充実などについて議論され、計13議案が可決されました。

地方分権の推進により、今後ますます重要な役割を担う市議会として、これからも様々な機会を通じて皆さまの声を耳を傾けるよう努めてまいります。

(吉田記)

★編集委員

◎川島、◎曾田、吉田、中山、永森、金森、上田、水口、南部、青木、荒木

(◎委員長 ○副委員長)

9月定例会の予定

9月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、9月4日(四)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 12日(四) 11時 議員協議会
- 13時 本会議
(市長の提案理由説明)
- 14日(金) 10時 本会議(代表質問)
- 19日(四) 9時 議会運営委員会
- 10時 本会議(個別質問)
- 20日(四) 10時 本会議(個別質問)
- 本会議終了後
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 21日(金) 13時 民生病院常任委員会
- 13時 経済消防常任委員会
- 24日(日) 10時 議会運営委員会
- 13時 建設水道常任委員会
- 13時 総務文教常任委員会
- 26日(四) 9時30分
委員長会議
- 10時 議会運営委員会
- 11時 議員協議会
- 13時 本会議
(議案・意見書など議決)

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
23年 9月	84人	6人
23年12月	39人	3人
24年 3月	40人	0人
24年 6月	17人	1人